

(様式第1号)

エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社ミツウロコヴェッセル				
代表者名	氏名	川上 順	役職名	代表取締役社長	
主たる事務所の所在地	〒1004-0031 東京都中央区京橋3-1-1				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する小売電気事業者			
	<input type="checkbox"/>	その他の事業者			
主たる事業の概要	1. エネルギー事業 全国80万世帯へのLPガス供給や、サービスステーションにおける石油製品販売などを行っております。 2. 電力小売事業 電気の小売供給を平成28年からはじめ、現在は北海道から九州までサービスを展開しています。				
電力供給量(総量)	226,944	千kWh	電力供給量(長野県)	1,492	千kWh

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	2017	年度	～	2019	年度	報告対象年度	2017	年度
------	------	----	---	------	----	--------	------	----

3 公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	ミツウロコヴェッセル本社 (東京都中央区京橋三丁目1-1) 10:00～17:00
<input type="checkbox"/>	その他	

4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

- ミツウロコグループとして、低炭素社会の実現へ貢献します。
 - (1) 環境負荷・CO2発生量の少ないLPガスの促進。
 - (2) 低公害車として知られるLPガス自動車やCNF自動車の普及、またエコステーションの設置。
- 小売電力事業において、BGによる風力発電所、バイオマス発電所、太陽光発電所の建設検討を今後も推進するとともに、太陽光発電所やバイオマス発電所、清掃工場等の再生可能エネルギーによる電力調達の働きかけを実施します。

5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制

- 社内組織として以下の体制を構築しております。
 - ・ 弊社は改正省エネ法における特定事業者該当、エネルギー使用の合理化を図るため本社に管理体制を構築しております。
 - ・ 上記組織にて、二酸化炭素排出量削減のため対策担当者を配置しております。

(様式第1号)

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の抑制に関する目標等

基準年度	実排出係数	0.000535	t-CO2/kWh
2016年度	調整後排出係数	0.000500	t-CO2/kWh
目標年度	目標排出係数	2016年度以下	t-CO2/kWh
2019年度	目標削減率	—	%
目標設定に関する説明	電源調達をBGに一任しているため、BGに対して排出量削減の申し入れを行うことで協力して削減実施を図ります。また、BGに関しては新エネルギーによる発電を取り入れている企業を選んでいます。		
第一年度	実排出係数	0.000649	t-CO2/kWh
	調整後排出係数	0.000607	t-CO2/kWh
2017年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量	147	千t-CO2
排出係数等の増減理由	石炭火力からの受電が増えたため、排出係数も増加となりました。		
第二年度	実排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			
第三年度	実排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			

(様式第1号)

7 上記6の目標を達成するための措置

再生可能エネルギーからの電力調達に努めます。

8 調達する電気の電源構成に関する見通しと実績

区分		調達する電気の電源構成の割合 (W・h比)					
基準年度		石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%
		LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 ^{※3}	%
2016	年度	石油火力	%	FIT電気 ^{※2}	%	その他 (BGに準じる)	100 %
最終年度 における 見通し ^{※1}		石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%
		LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 ^{※3}	%
2019	年度	石油火力	%	FIT電気 ^{※2}	%	その他 (BGに準じる)	100 %
第一年度		石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%
		LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 ^{※3}	%
2017	年度	石油火力	%	FIT電気 ^{※2}	%	その他 (BGに準じる)	100 %
第二年度		石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%
		LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 ^{※3}	%
	年度	石油火力	%	FIT電気 ^{※2}	%	その他 ()	%
第三年度		石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%
		LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 ^{※3}	%
	年度	石油火力	%	FIT電気 ^{※2}	%	その他 ()	%
備考	調達先であるミツウロコグリーンエネルギー (株) のBGから受電しているが、混合状態で受電するため特定不可能となる。						

- ※1 「最終年度における見通し」欄には、基準年度時点における事業者の電気の調達計画等の見通しに基づき、特定期間の最終年度を算定期間とする電源構成の概算の見込み割合を記載する。
- ※2 「FIT電気」とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく認定施設から買い取られた電気で、その調達費用の一部が全電気利用者が負担する賦課金により賄われている電気を指す。
- ※3 「卸電力取引所」とは、電力の卸取引を行う取引所であって、電気事業法第97条第1項に規定される指定を受けた卸電力取引所を指す。

(様式第1号)

9の1 再生可能エネルギー源により発電された電気の調達量に関する見通しと実績

区分	調達量				再生可能エネルギー源の種類 (内訳)				
					電源	種類別調達量			
	県内分		再生可能エネルギー 電気 (FIT電気を除く)	FIT電気					
基準年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2016 年度									
最終年度 における 見通し		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2019 年度									
第一年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2017 年度									
第二年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
年度									
第三年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
年度									
備考	他社BGからの全量受電のため。								

(様式第1号)

9の2 再生可能エネルギーの普及・供給拡大に関する取組

BGに対し、自然エネルギー調達拡大の献策をします。

10 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出抑制の研究と取組

11 需要家の省エネルギー対策の推進に関する取組

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	LPガス事業における提案のひとつとして、エネルギー運用方法をもとに高効率機器の導入に取り組んでいきます。
家庭・事業者の省エネルギー対策への協力	災害対応型給油所普及事業への対応や屋上緑化との併用促進などの場面で、太陽光発電システム活用に取り組んでいきます。
その他	

※ 需要家に対して節電や省エネを誘導する料金体系を導入している場合は、「その他」に記載する。

(様式第1号)

12の1 地域との連携に関する取組の実施状況

基準年度までに実施した内容	実績なし
第一年度実績	実績なし
第二年度実績	
第三年度実績	

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	<ul style="list-style-type: none">・省エネ・CO2削減のため、社内のクールビズ・ウォームビズの実施・営業車にハイブリッド車両を導入・照明のLED化および空調使用時間の制限
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

(様式第1号)

1.3 自由記載欄

A large rectangular area filled with a light blue color, representing a free text field. The area is bounded by a thin black border and occupies most of the page below the header.